

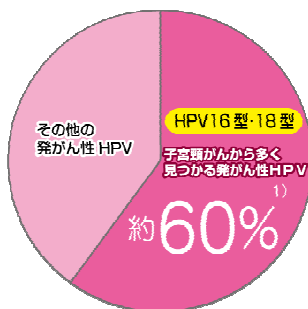
子宮頸がんを「予防」できるワクチンがあります

子宮頸がんの原因となるウイルスの感染を防ぎます

子宮頸がん(しきゅうけいがん)は、その原因やがんに至るまでの経緯がほぼ解明されている「予防できるがん」です。

子宮頸がんは発がん性HPV(ヒトパピローマウイルス)への持続的な感染が原因で起こるといわれています。なかでも、HPV16型、18型の2種類は、特に関わりが大きく、子宮頸がん予防ワクチンは、このHPV16型、18型の感染を、ほぼ100%予防することができます。

日本人子宮頸がん患者の発がん性HPV感染率



1)Onuki M et al. : Cancer Sci 100 (7) : 1312-1316.2009

世界100カ国以上で子宮頸がん予防ワクチンを使用しています

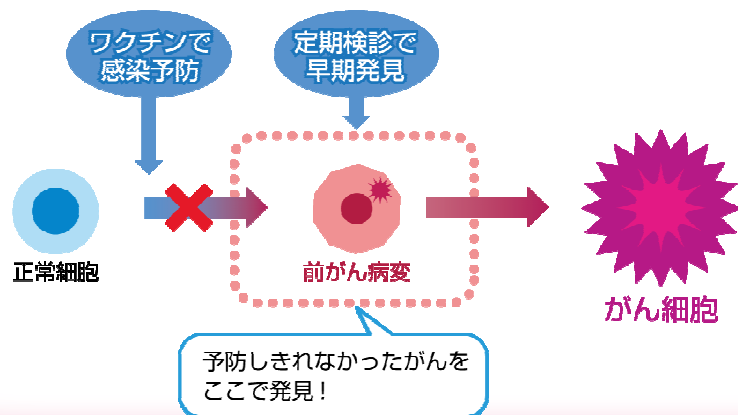
すでに世界100カ国以上で子宮頸がん予防のワクチン接種が行われています。

日本でも2009年12月からワクチン接種が受けられるようになりました。

日本でも接種できるようになったんだ！



ワクチンと検診による子宮頸がんの予防



- ワクチンで発がん性HPVの感染を予防します。
- ワクチンで感染を防げなかったがんを検診で発見します。

ワクチンは発がん性HPVの感染を予防するもので、ワクチン接種前に発症した子宮頸がんを治したり、進行を遅らせたりすることはできません。

検診を受けることで、子宮頸がんになる前に異常を発見し、治療を開始することができます。

ワクチンで予防しきれなかったHPV16、18型以外の発がん性HPVによるがんを早期に発見するために、接種後も定期的に検診を受けることが大切です。

🌸 ワクチン接種後も、定期的に検診を受けましょう

大阪がん予防検診センター（予約センター 06-6969-6712へ）

3回接種で42,945円 未成年もOK 婦人科内診は必ずしも必要ありません